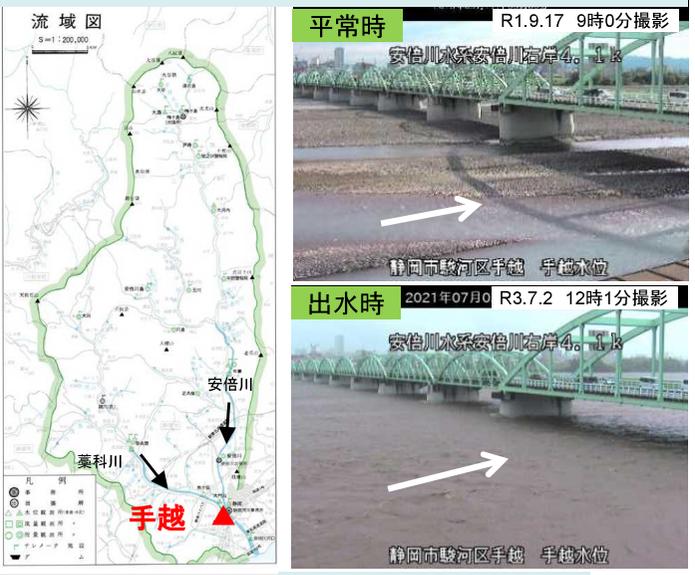


5. 河川改修事業等の効果(速報版) 安倍川水系安倍川

- 令和3年7月の梅雨前線に伴う大雨により、静岡市など県中部では、3日午前の時点で1時間に50mmを超える雨量を観測。また、降り始め(6月30日18時)から3日午前5時までの降水量では、静岡市有東木にて422mm(アメダス速報値)を記録。
- 安倍川では「防災・減災、国土強靱化緊急3カ年対策」によりH30年度から集中的な河道掘削を実施。本対策により水位を約0.3m低下させた試算される。
- また、安倍川の流域治水プロジェクトでは、静岡市が主体となり流域貯留浸透施設の整備を進めており、既に整備済みである駒形小学校(写真)を含む、計8つの小・中学校の校庭において雨水貯留を実施し、河川への流出を抑制。

○出水状況(手越地点)



○校庭での雨水貯留(駒形小学校)

※本資料の数値は、速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります



○5km付近の河道掘削の状況(R3.3末)



○今回出水による水位低下効果

